

事業名	地域情報通信基盤管理運営事業
-----	----------------

総事業費	50,748	千円
------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	安定的な通信の確保、機器の正常な運用。	
事業の実績 と成果	取組内容	光ブロードバンド設備、地域イントラネット設備の維持管理を行うとともに、新規加入者受付、回線の撤去、移設工事、IRU使用料の請求処理、補助金の申請等処理、民間移譲の準備事務を行った。
	成果	安定的な通信の確保、機器の正常な運用を実現できた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	社会情勢の影響により、契約者数が増加し、事務量が増加しているため、事務の効率化を図る必要がある。また、経年劣化により通信機器の老朽化が危ぶまれるため、維持管理の面からも、民間と施設維持について話し合いを行っていく。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	馬毛島の工事関係で回線申込が増加する中、安定運用ができています。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	工事関係者の移住に伴い、工事申込件数も増えている。丁寧な説明を行い、工事業者との連絡を密にとり、トラブル等にならないよう気をつける。老朽化するウェブカメラの更新を行う。地域イントラネット回線の民間移譲の場合なども含めて、俯瞰的な視点から管理を行う必要がある。
-----------	---

事業名	住宅環境整備事業
-----	----------

総事業費	1,826 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な居住環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	住環境の向上及び市内業者の振興を図るため、住宅の耐震診断・耐震改修工事、リフォーム工事を促進する。	
事業の実績 と成果	取組内容	広報等による事業の周知を行い、補助事業を実施した。
	成果	住宅リフォーム工事に対する補助件数は15件で1,826千円の補助を行ったことにより、住環境の向上に貢献している。 耐震診断、耐震工事については、申請がなかった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	住宅リフォーム工事の趣旨である地域経済の活性化や雇用の安定については、現在のところ満たされていると思われる。制度を廃止するか、継続又は拡充が必要なの検討が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	居住環境の向上が図られ、地元企業における経済効果にも貢献している。 耐震工事、危険が〆り及び危険家屋の除去など、地震等の2次災害へ備わるような補助金の利用の促進に繋がる取組が必要。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	住宅リフォームの件数も減少傾向にあり、今後は危険家屋等の解体への補助を重点とし、安心して暮らせる住環境の整備を進め、土地利用の促進にもつなげる。 全国的に起こっている地震への対策として、耐震診断及び耐震工事の補助利用により災害に強い住環境の整備を促進する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	(写真) 住宅リフォーム工事補助 「工事前」・「工事完了」

事業名	公営住宅改修事業
-----	----------

総事業費	1,894 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した公営住宅の個別改善等を行うことで住環境の向上を図り、適切なストックマネジメントの推進を目指す。	
事業の実績 と成果	取組内容	古園団地木造住宅（6棟6戸）の既設汲み取り式トイレを水洗トイレに改修する工事（合併浄化槽設置、内装・外構工事、換気扇・照明取替等）に係る設計業務委託を行った。
	成果	対象の住棟及び住戸の機能性向上による長寿命化が図られる他、居住水準の向上で入居者の満足度に対する貢献が期待される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業実施は、西之表市公営住宅等長寿命化計画に基づいたものであるが、計画の内容や投入可能な財源に対して、改修が必要な住宅が多い。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	古園団地木造住宅（6棟6戸）のトイレ水洗化に関する計画事業を予定どおり進めることができおり、今回の取り組みで、市街地周辺で集約・建替対象を除く木造住宅のトイレが全て水洗化され、現行の国整備基準に沿うことになるが、その他の公営住宅についても改修を要する箇所が多いため、引き続き長寿命化計画や上位計画との整合を図りながら、事業の適切な実施に努めなければならない。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	西之表市公営住宅等長寿命化計画における予定事業の実施と併せて、老朽化の現状把握や危険箇所の認識等にも努める。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 	<p>(写真)</p> <p>古園団地木造住宅改修設計業務委託 「現地打ち合わせ」・「完成検査」</p>

事業名	公営住宅等整備事業
-----	-----------

総事業費	44,716 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	公営住宅等長寿命化計画及び鴨女町団地建替基本計画に基づく公営住宅の建替により、公営住宅全体としての居住水準の向上が図られるとともに、適切なストックマネジメントを推進する。	
事業の実績 と成果	取組内容	鴨女町団地建替基本計画（令和3年度策定）の事業スケジュールに基づく令和5年度事業として、「第1段階仮移転」、「第1工区解体工事」、「第1工区実施設計」、「開発許可申請」に関する業務を実施した他、集約・建替対象者の個別対応や議会説明等を行った。
	成果	懸念されていた初回の住民移転も全件無事に終わり、解体工事や各業務委託も予定通り完了したことで、次年度以降の計画事業につなげることができる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	建替基本計画に基づいて行う各年次の事業は、内容や事業費等の規模も大きいため、適切かつ慎重に進める必要がある。 特に、令和6年度は、第1工区の新築工事が継続予算で予定され、市民や議会の関心もさらに高まることが予想される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	工事対象区画の現入居者に他の市営住宅等へ一時的に引っ越していただく仮移転は、一部困難者も見られたものの、期限までに全世帯が完了することができた。 その後の解体工事や実施設計も予定の成果を得られ、基本計画では詳しく想定されていなかった開発許可申請についても、手続きどおりにすすめられた。 令和6年度以降は新築工事が始まるため、受注者の確保や建設費高騰対策等の様々な課題に対しても、十分な検討のうえ取り組まなければならない。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	建替基本計画に基づく事業スケジュール（6か年）における3年目事業を計画的に進める。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	(写真) 第1段階仮移転 第1工区解体工事

事業名	公営住宅解体事業
-----	----------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	極めて著しい老朽化等により供給不可能となった公営住宅の解体を行うことで、適切なストックマネジメントの推進と市有財産の有効活用を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	普通財産所管の財産監理課と、解体対象の公営住宅の取り扱いについて協議等を行った。
	成果	解体が必要な住宅に対して、市有財産の取り扱いを含めた今後の取り扱いを整理することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	解体を含む市営住宅のストック管理は、西之表市公営住宅等長寿命化計画に位置付けられる必要があるが、これには住宅の老朽化現状や財源確保等の視点も考慮し、総合的に検討・判断しなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	評価対象年度における解体工事の実施はなかったが、財産の取り扱いについて、普通財産所管の財産監理課との間で今後の取り扱いを整理することができた。 今後解体対象となる一定数の住宅に対しても、適正な計画の基で管理を行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	安納団地（簡易耐火平屋・1棟2戸）解体工事に係る財産監理課依頼対応
-----------	-----------------------------------

事業名	都市下水路長寿命化対策事業
-----	---------------

総事業費	539 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	快適な生活環境の整備
	基本事業名	住環境の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	事故の未然防止及び老朽化した下水路の長寿命化を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	川端下水路において、腐食が酷い個所を確認したことから補修を実施した。
	成果	都市下水路に隣接する住民等の生活環境、安全の確保を図り、また、浸水被害リスクを軽減することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	老朽化している都市下水路の更新に向けて、財源の確保や実施体制の構築などが課題である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	事業規模が大きく財源の問題もあることから、事業実施体制を含め今後の計画を精査する必要がある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	予算は伴わないが、老朽化している都市下水路の更新に向けて、事業実施体制や財源について調査・研究を行う。
-----------	---